

製品名: MUC1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86648**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:122 kDa; Observed MW:25 kDa

抗原情報

遺伝子名	MUC1
別名	EMA; MCD; PEM; PUM; KL-6; MAM6; MCKD; PEMT; CD227; H23AG; MCKD1; MUC-1; ADMCKD; ADMCKD1; CA 15-3; MUC-1/X; MUC1/ZD; MUC-1/SEC
遺伝子 ID	4582
SwissProt ID	P15941
免疫原	ヒト MUC1 の合成ペプチド

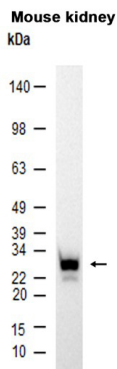
背景

この遺伝子は、ムチンファミリーに属する膜結合タンパク質をコードしています。ムチンはO-グリコシル化タンパク質であり、上皮表面の保護粘液バリア形成に重要な役割を果たしています。また、これらのタンパク質は細胞内シグナル伝達にも関与しています。このタンパク質は、肺、乳房、胃、膵臓など、多くの異なる組織の粘膜表面を覆う上皮細胞の頂端面で発現しています。このタンパク質は、タンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに切断され、ヘテロ二量体複合体を形成します。N末端の α サブユニットは細胞接着に機能し、C末端の β サブユニットは細胞シグナル伝達に関与しています。このタンパク質の過剰発現、細胞内局在異常、およびグリコシル化変化は、癌との関連が指摘されています。この遺伝子は、高度に多型性のVNTR (variable number tandem repeats) ドメインを含むことが知られています。代替スプライシングにより、複数の転写産物変異体が生じる。[RefSeq 提供、2011年2月]

研究分野

-

画像データ



MUC1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス腎臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。